

愚図愚図散歩149 日日是好日132

2026.01.01.



制作・撮影 浦野俊之



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

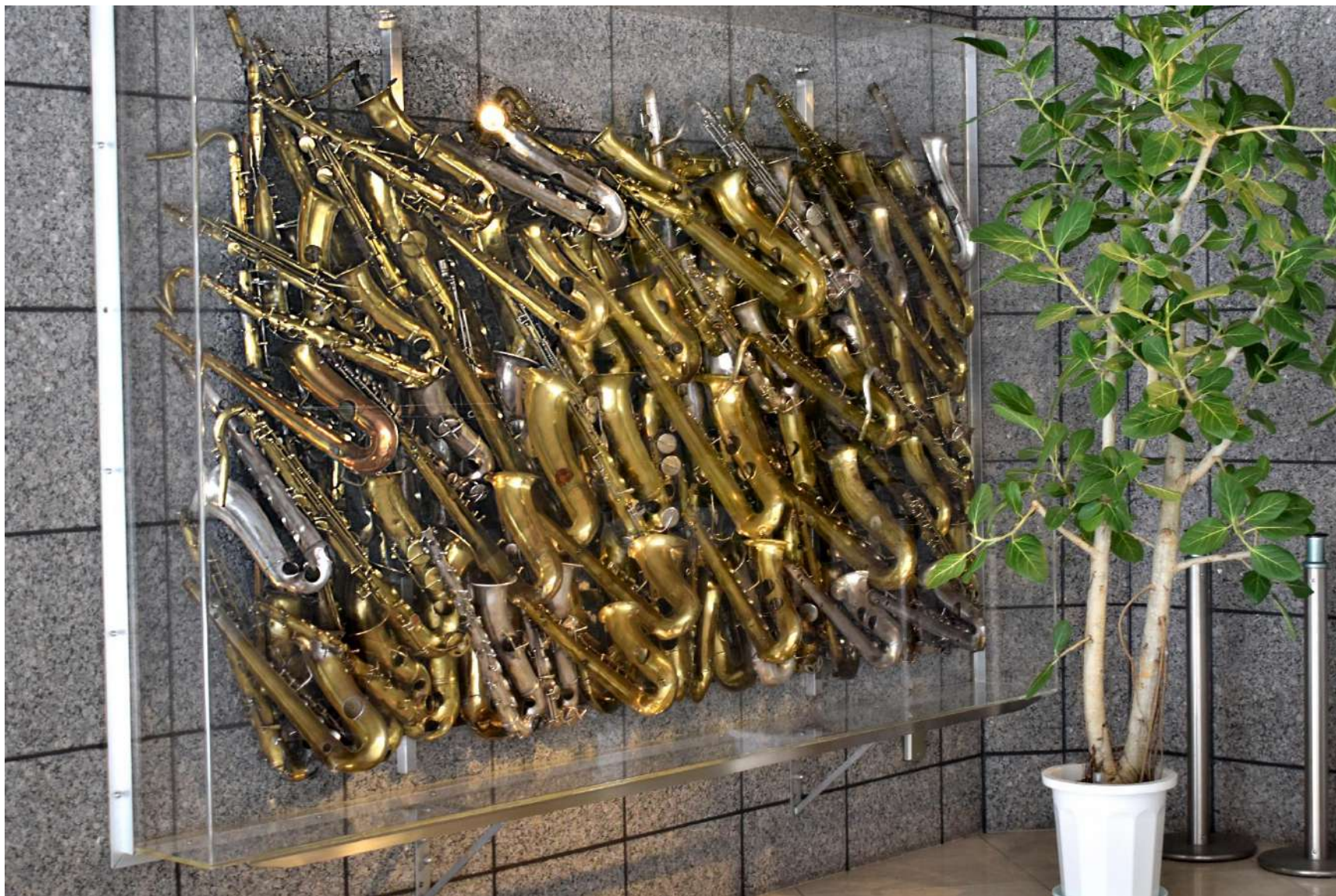








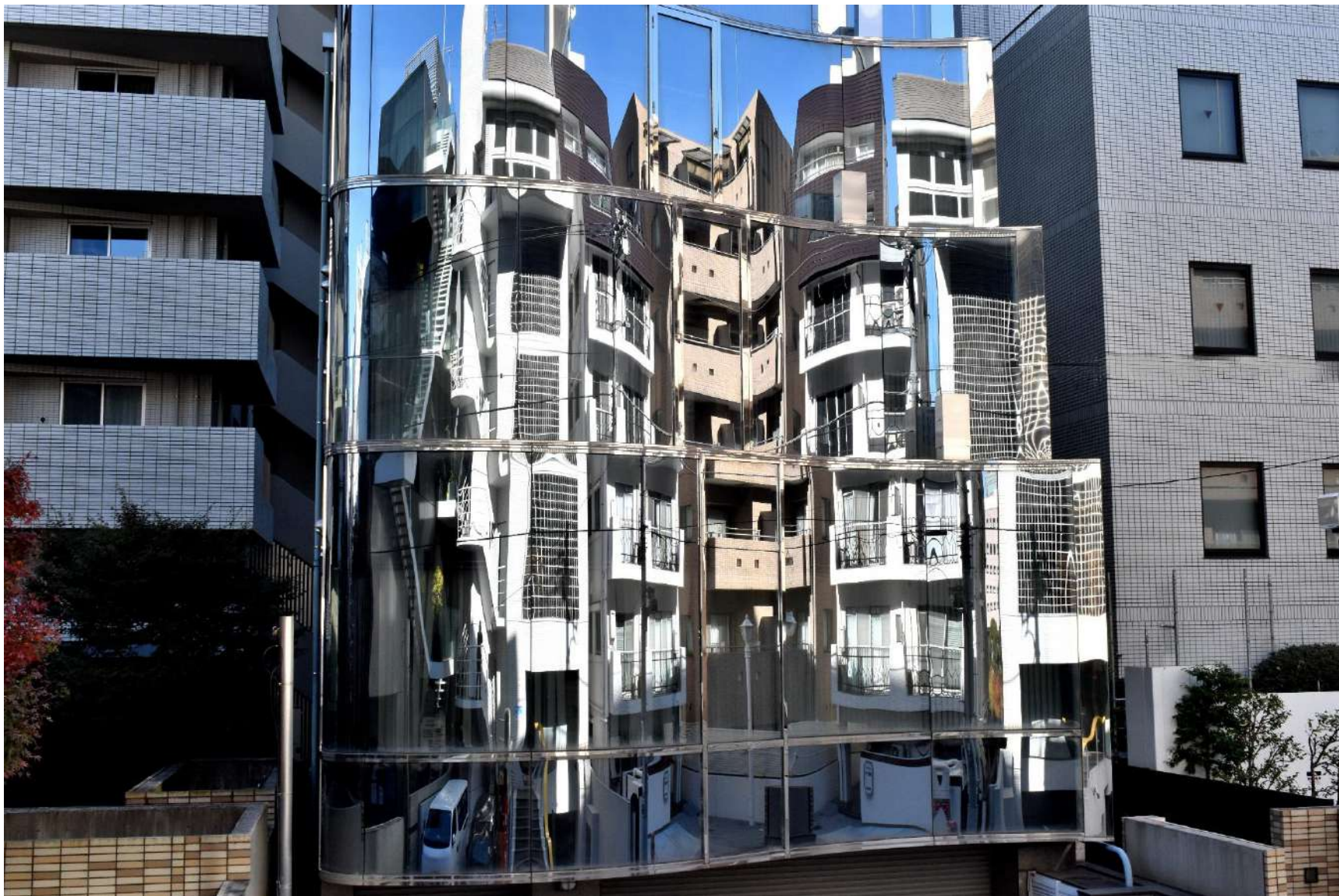
ストリートアーティスト バリー・マッギーの作品に出会いました。観れば綺麗な彩色の絵より、落書きの方が目立ち、この様な処に落書きをするなんてと思いましたが、解説を読むと、『ストリートの非公式なマークや落書きを展示空間に持ち込むことで境界を曖昧にするーこれはマッギーの典型的なスタイルです。コピペ』と書かれていました。斬新な発想に驚きました。(品川区東品川2-1-18)



高級住宅街のおしゃれなビルのロビー入り口に、不思議な輝くオブジェが見えたので、奥に入りますと、なんと、多数のサクソスが重なり合って展示されています。楽器店ではなさそうで、不思議な作品に驚きました。(千代田区三番町5-37)



一番町の高級マンションの一番町デュープレックスタワー『前の広場、通路に設けられた公開空間で、歩行者が日常自由に通行又は利用できるものです。コピペ』水面に影を映す石の球体オブジェ、これも心癒される作品でした。(千代田区一番町13-6)

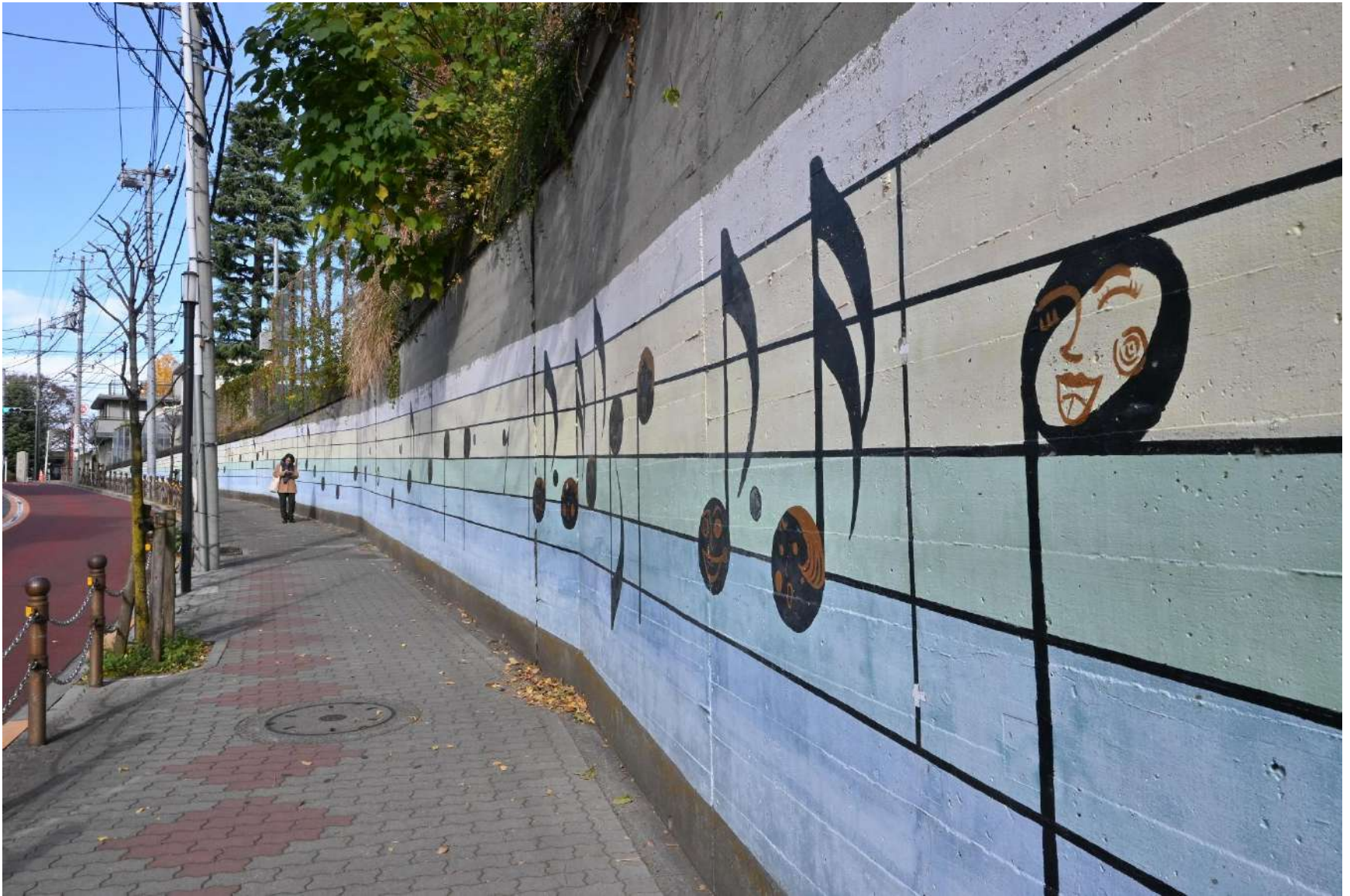


曲面を持った鏡面ガラスは、辺りの風景を多面で映し出し想像もしないビル街の風景を構成します。此处五番町のSO五番町ビルはもう一つの街の風景を構成して秀逸です。(千代田区五番町4-16)





決して雪国へ行った訳ではありません、新宿住友ビルのロビーでクリスマスツリーを撮りました。（「新宿区西新宿2-6-1」）



2017年 - 2019年(第30回 - 32回)全日本マーチングコンテスト中学生の部において吹奏楽部が3年連続金賞受賞の赤塚三中の外壁に描かれた楽譜。(板橋区赤塚7-27-165)



不忍池冬景色



谷根千らしい温かみのある青果店(文京区千駄木2-39-1)



何でこの様に沢山古材が積まれているのだろうと疑問に思いました。実はこのビルは、銭湯のふくの湯なので、多分湯を沸かすための薪材のようです。しかし、今でも木材を使って居るのでしょうか。(川口市元郷5-19-10)





使われなくなった電話ボックスの中にサンタクロースが置かれていました。テレホンボックスが残って居るのは珍しく中を覗いてみると、街のどなたかが作ったと思われる紙コップのサンタさんでした。(川口市栄町3-11)



川口の商店街に来ると必ず立ち寄る赤丸ポスト。すっかり街に溶け込んでいます。(川口市幸町2-14-5)



暮れの9日、まだまだ勢いの衰えぬ西洋朝顔(北区上十条4-1)



アドミュージアム東京で『昭和のホーロー看板展』が開催されていました。街角を鮮やかに彩った「ホーロー看板」。薬や食品、家電まで、暮らしに寄り添う商品を伝える看板は、時代のシンボルであり日本の風景そのものでした。(コピペ)子供の頃を思い出しながら鑑賞しました。(港区東新橋1-8-1)



青山一丁目近くのポーラ青山ビルディングの前空間に、現代美術家のミムラブロス制作の作品が置かれていました。真ん中の円の中は鏡、そこに映る白シャツの男性は、鏡に映る虚像、鏡の下に見える足は、実際に歩く人の足、画像を見るとまるで、あしなが叔父さんのようで、シャッターチャンスが一致、珍しい写真が撮れました。



ハンガリーのクリグル・シャンドル制作の大道芸ヴァイオリニスト。軽妙な彫像で楽しい雰囲気が好き。



彫像の前のお店のウィンドーの中では、ヴァイオリンの演奏に合わせて牛達がダンス踊って居ました。



新しくオープンしたパソナ青山の大きなクリスマスツリーに誘われて入館、ロビーに置かれた椅子がプロペラ、エンジン小型飛行機の部品で作られているのに驚きました。(港区南青山3-1-30)



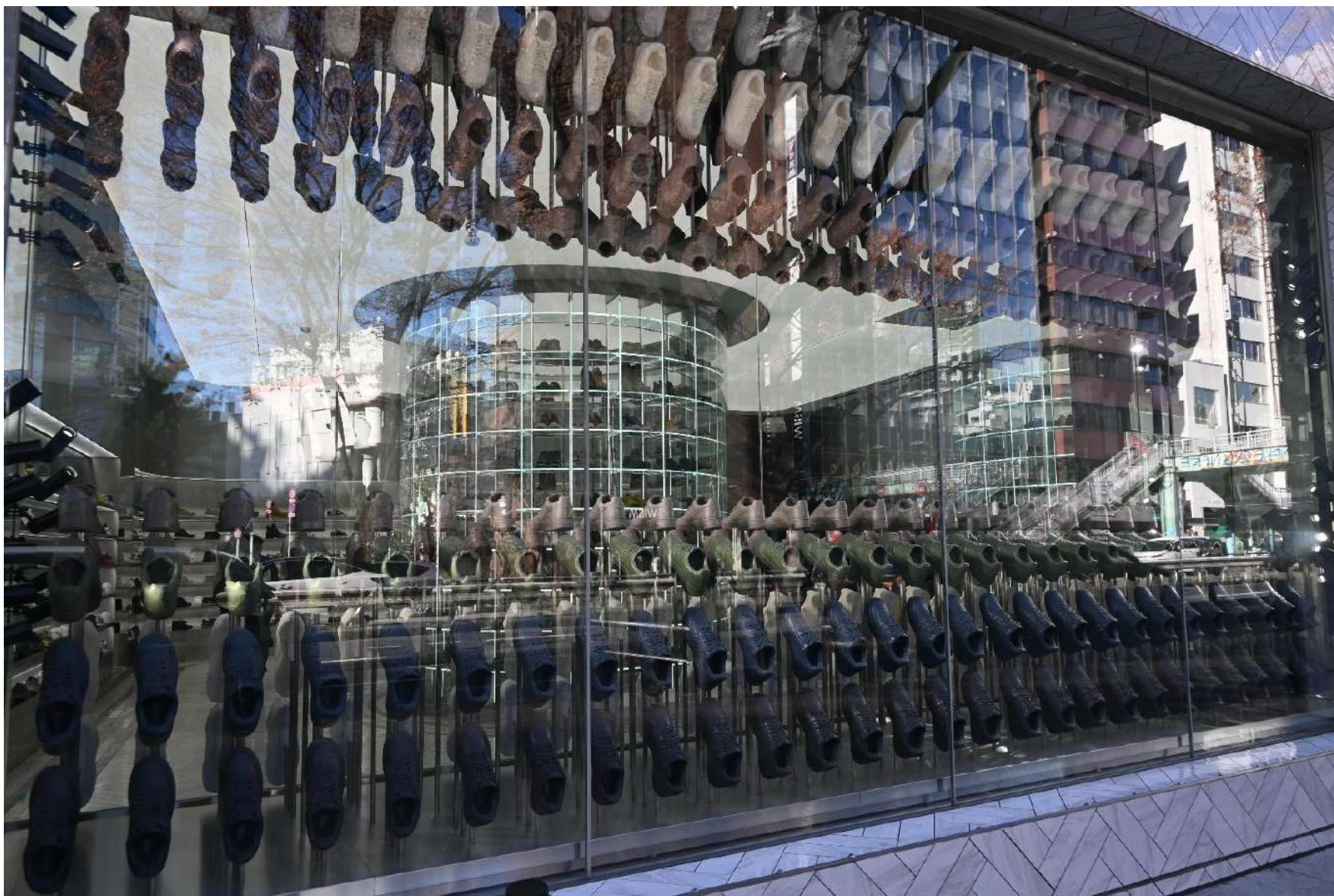
これも飛行機の部品のようにです。



白と黒のスカートがお似合いのお二人、旧同潤会アパートだった表参道ヒルズ前のジョーマローンのデコレーション。
(渋谷区神宮前4-12-10)



元祖竹の子族店、今でも派手派手衣装がまぶしい。(渋谷区神宮前1-6-15)



何時みてもスニーカーやアパレル商品が並ぶ斬新なKITH。(渋谷区神宮前6-20-10)



キャットストリートを歩くと、看板のないガラス張りの大きなイラストのある建物前に長蛇の列、なんだコレと思いながら案内人の若者にお聞きすると、「ジャスティン・ビーバー知ってます？彼が期間限定で開いたお店です。」と説明されましたが、このように多くの人が集まるとは、ただ驚きでいっぱいです。(渋谷区神宮前6-14-2)



なんと見慣れぬデザインのお店でしょう。DIPTYQUE 香水店のようですが、私の様な老人には驚くばかり、実際には店の全面には電線が横切り、見苦しいので削除した画像に仕上げましたが、さすが原宿と思わせる外観です。(渋谷区神宮前5-11)



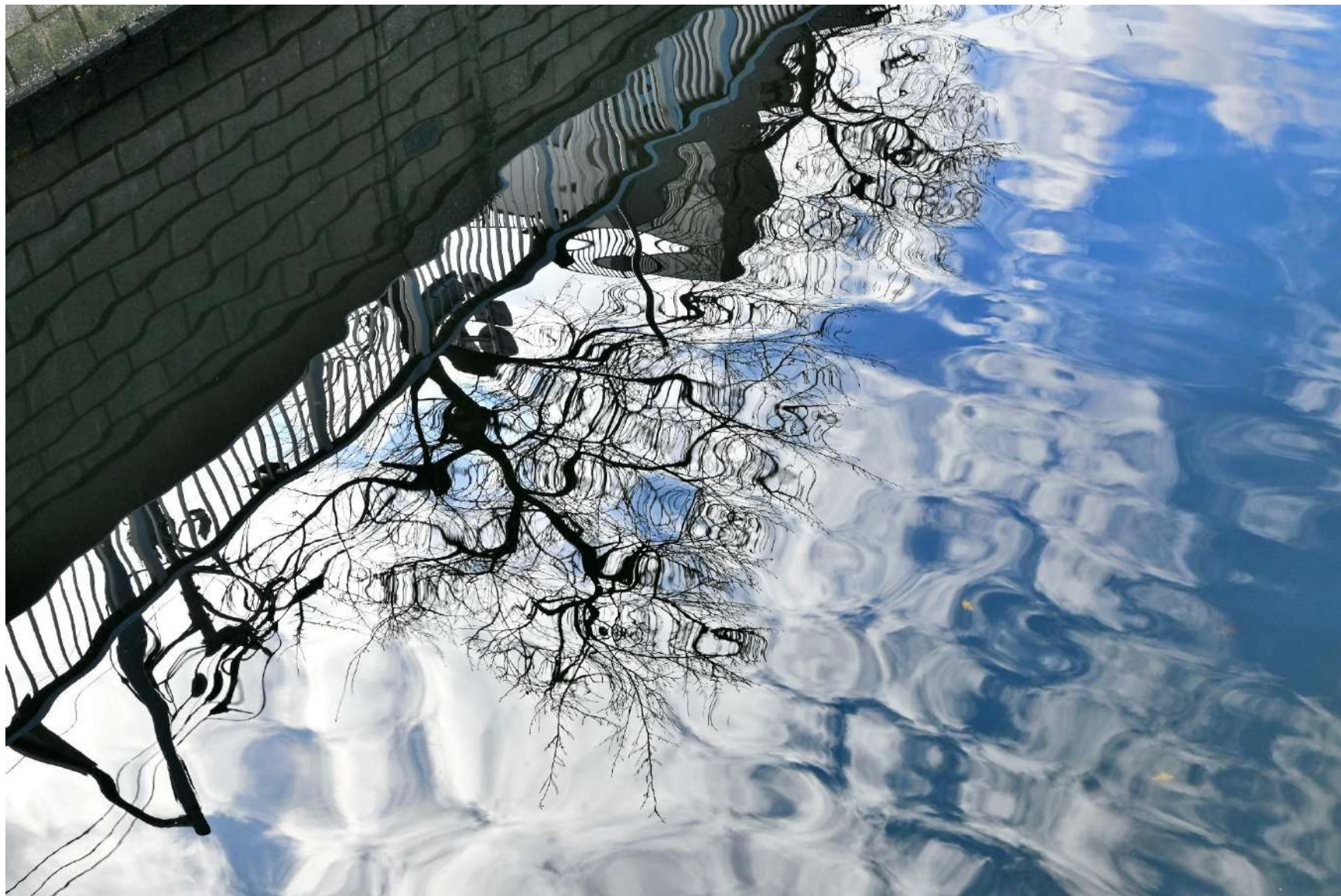
元スーパーだった店舗の二階の窓からまさかの狼が遠吠えをしています。現在お店は、廃物集荷場として様々な廃品が貯蔵されています。聞けば、働く若者が、剥製でしゃれで仕組んだお遊びだそうです。(北区西が丘1-21-2)



北海道のヒグマが人形町で歌って居ました。もちろん無害です。



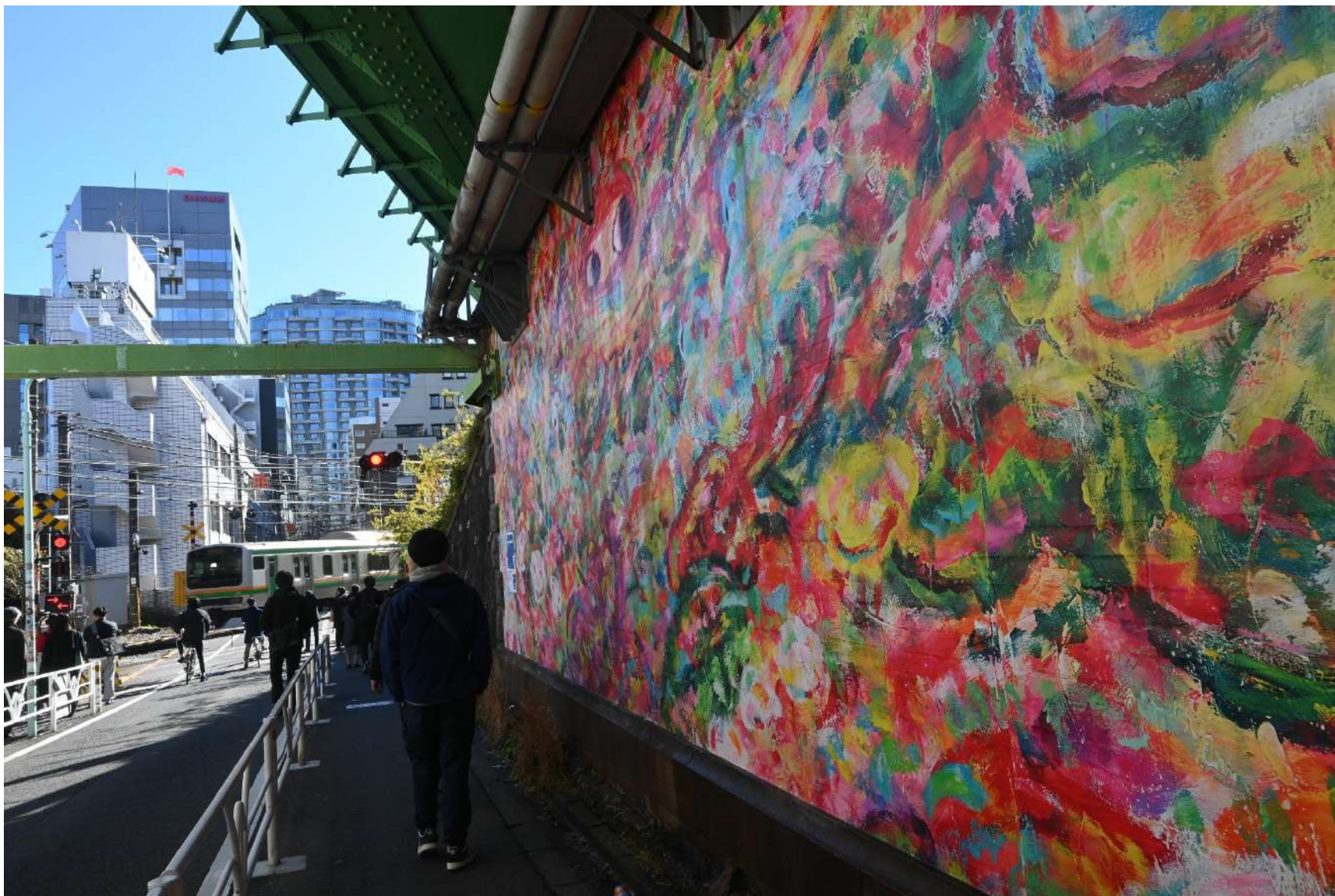
旧東海道は、最近古い建造物は改築され、この様な新しいお店ばかりになりました。心なしか人の出も少なくなり、観光客は見当たありません。土地の人はもう旧東海道とは言えない街になってしまったと、笑いながら語ってくれます。残念な気もしますが、時代の移り変わりなのでしょう。(品川区北品川1-29-13)



目黒川の冬の揺らぎ。



旧東海道に残る大阪格子のある古家、お住まいの方にお聞きしますと、140年前に建てた古家で、地震が来ると大変揺れますし、風が吹いてもゆれるそうです(笑)。お店の前に井戸ポンプがありました、別の所からポンプだけ持ってきて飾ったのだそうです。(品川区南品川2-10-5)



代々木駅近く、山手線ガード下の抽象画壁面、明るいタッチが鮮やかな筆さばきで騒音を打ち消すようでした。（駄ヶ谷4-31）



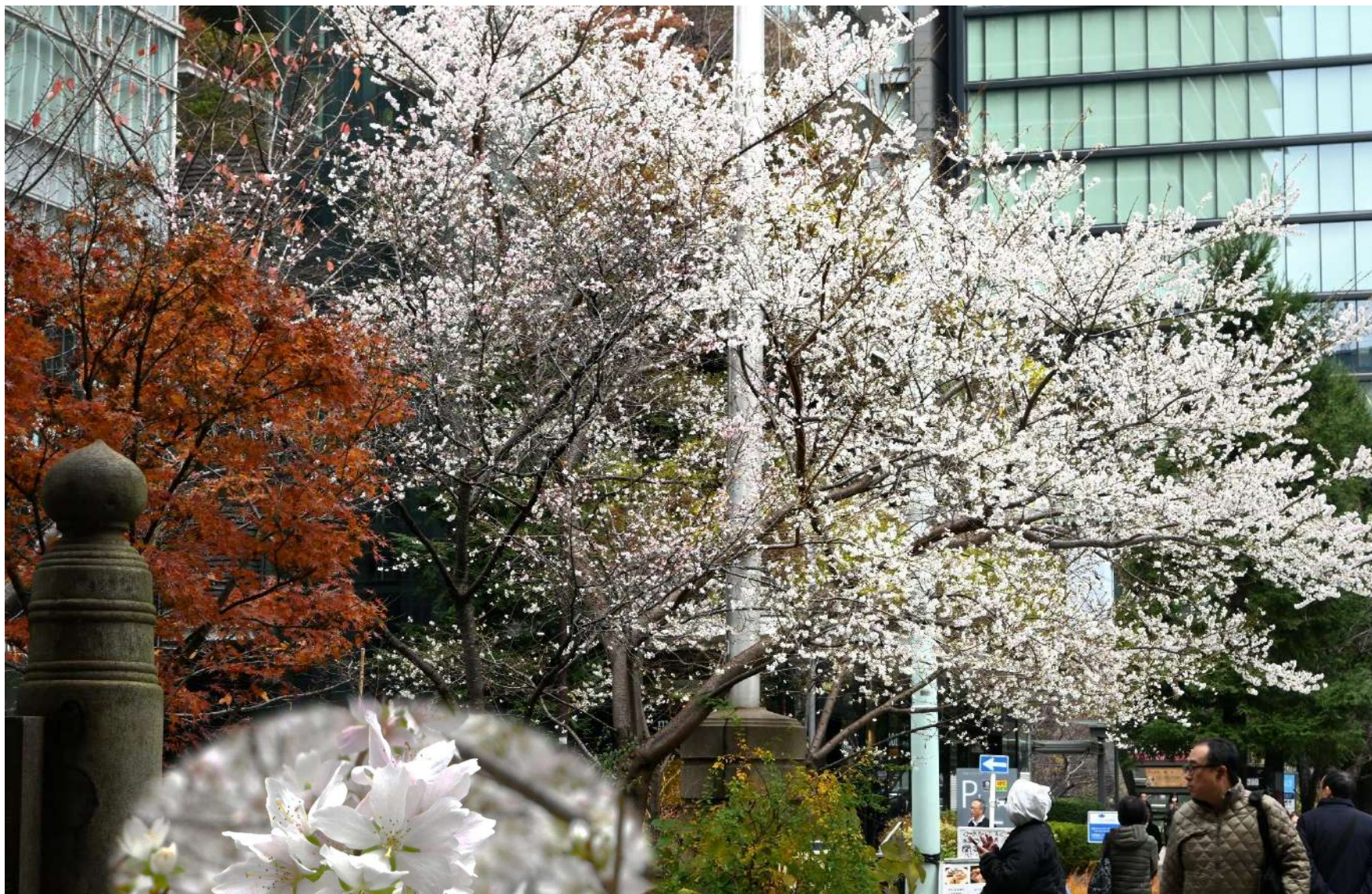
鳩森八幡神社の富士塚をバックに、手入れの効いた井戸が健在でした。(渋谷区千駄ヶ谷1-1-24)



お店の前を歩き、何気なくガラスの中を見ると、人が壁面に向かって手を動かしています。色彩豊かな何かが描かれるのだらうと思いながら、通り過ぎると、何か変だと気が付き、店内に入り見ると、なんと、人ではなく手が動くマヌカンでした。しかも手書きの漫画チックな顔でした。
(渋谷区千駄ヶ谷2-6-3)



店内に飾られたマネカンも全員手書きの漫画チックな顔でした。この位明るく楽しくなければ、スケートボードのファッションにはならないでしょう。



昔の京橋の親柱が残る京橋三丁目、東京スクエアガーデン横に満開の冬桜が咲いていました。今どき華やかに咲く桜を(12月23日)都会の真ん中で見るのは初めてです。真冬の季節に満開の桜が見られ、気持ちが高揚しました。



さあー 今年も頑張ってー、ヨオーツ しゃしゃしゃん しゃしゃしゃん しゃしゃしゃん しゃん！しゃしゃしゃん しゃしゃしゃん
しゃしゃしゃん しゃん ！